

力と鋭い爪と嘴、眼下の獲物に向かい一直線に急降下、決して逃がさない。敵はいないかもしれないが、仲間もいない驚。一体何を楽しみにして生きているのだろう。

●心の個性1

群れない、孤独を楽しむ個性

いつも皆から離れた高い位置に独りぼっち…でも決して淋しそうではない。独りぼっちが好きではあるが、そうかと言って孤独癖があるのではない。気楽な会話の場でも、つい筋論や正論を吐くから、煙たがられることを自覚してはいても、うける会話が苦手なのだから仕方がない。独りが気楽でも、楽しく騒ぐのが嫌いなわけではないのだけどなあ。

●心の個性2

観念的思考を大いに嫌う

「急がば回れ」「長いものには巻かれろ」「寄らば大樹の陰」などは大嫌い。貴族が平民を大人しくさせて束ねるために造ったような観念には、どうしても同調できない。自分は自分、誰の下でも上でもない。今を精一杯謳歌して生きたいから、先の得のための忍耐などはしたくな